

令和8年度 第1回 三木市健康づくり推進協議会 議事録

日 時：令和8年9月16日（水） 午後1時30分から午後2時45分まで

場 所：三木市総合保健福祉センター 2階 研修室

参加者：委員17名（会長含む）

傍聴者：なし

1 開 会

司会進行：三木市健康福祉部健康増進課 課長

2 市長あいさつ

3 会長あいさつ

三木市健康づくり推進協議会 会長

4 諮 問

「三木市食育推進計画（第4次）」策定のための審議

5 議 事

三木市食育推進計画（第4次）の策定について

（1）食育などに関する市民アンケート調査結果報告【資料1】

（2）三木市食育推進計画（第4次）（案）について【資料2】【資料3】

説明：三木市健康福祉部健康増進課 健康政策係 主査

意見・感想

【委員】

学校での取り組みは、保護者（大人の食育）にもつながっていくと思います。また、北播磨地域は県平均よりも塩分の摂取量が多い傾向があるため、減塩について計画に盛り込まれているのは良いと思います。

【委員】

食育アンケートの対象年齢は歯の健康においても重要な時期と重なります。5歳児は健全な永久歯が生えてくるように、乳歯をむし歯にしないよう注意が必要です。小学2年生は乳犬歯が生え変わる頃であり、また永久歯の前歯部の矯正にも重要な時期です。小学5年生は乳臼歯が小臼歯に生え変わ

る頃で、この時期にむし歯等で歯を失うと永久歯列に大きな影響を与えます。中学2年生は第二大臼歯が生える頃で、生活環境の変化などに伴いむし歯予防が難しくなる時期です。18歳以上は学校歯科健診がなくなり、歯の健康管理を自ら行っていく必要があります。

【委員】

コロナ禍以降、食育に関する指導や活動機会が減りましたが、今後は各種団体との連携を強化し、イベントへの参加など活動を増やしていきたいと思います。

また、給食は行事食や伝統料理を伝えていく教材としても有効だと思います。大人にも伝わるようホームページの内容を充実させたり、毎月19日は食育の日として、和食などを紹介するなど、今後も啓発が大切だと思います。

【委員】

資料中の☆印（P22、P23）は国の第5次計画の重点目標とのことですが、P16の☆印は同じものと考えてよいですか。

【事務局】

P16は第3次計画を策定した際のデータをそのまま反映しており、それぞれの指標に対するアンケート内容に☆印がついています。同じ☆印でもP22やP23とは意味合いが異なります。

【委員】

今後、違いがわかるよう工夫されたいと思います。

また、P17にあるように第3次計画の評価で悪化したところも中間評価でしっかり評価していくことが大切だと思うので、国の重点目標だけでなく、三木市の重点項目は何なのかも、わかりやすく示すとよいと思います。

【委員】

計画では、妊娠期・乳幼児期における食生活や知識の定着の重要性について触れていますが、実際に離乳食に困っている親や咀嚼に問題がある子どもも多いので、非常に大切なことだと思います。

【委員】

「ゆっくりよく噛んで食べる」は感覚的イメージが強いため、具体的な目安（噛む回数や速度）がわかるような表現が望ましいと思います。

【委員】

働き世代や若い世代はホームページをあまり見ていません。どうアピールしていくか情報発信の方法を工夫することが重要だと思います。

【委員】

自身も持病のため減塩に注意していますが、スーパーの惣菜の多くは一食で6g以上の塩分が含まれることがあり、1日3食すべてを惣菜で済ますのは難しいです。若者の食生活を考える際、特に減塩については企業の協力も必要と感じます。

【委員】

5歳児健診時に対象児に食育推進計画の啓発ができないでしょうか。

【事務局】

現在、5歳児健診時に歯の健康に関するチラシを配布し、むし歯予防や乳幼児期の歯の大切さを啓発しています。食育推進計画も乳幼児期から関わるのが重要と考えますので、担当課のこども福祉課と周知方法を検討します。

【事務局】

いただいたご意見を踏まえ、アンケート結果や三木市の健康課題から、今後どこに重点を置いて第4次計画に取り組んでいくべきか再考していきます。また、学校給食や企業との連携についても取り組んでいきたいので、ご協力をお願いします。若年層への周知方法についても、どういった方法であれば適切な情報提供ができるのか、ご意見を伺いながら計画を策定いたします。

6 報 告

健康プランみき21取り組み状況について

説明：三木市健康増進課 健診予防係 係長

7 その他 連絡事項

次回の健康づくり推進協議会の開催時期について

8 閉会

あいさつ 三木市健康づくり推進協議会 副会長